

岩手県企業短期経済観測調査結果（2018年9月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率100%（回答数68社、うち製造業26社、非製造業42社）
- 回答期間 8月27日～9月28日

1. 業況判断指数 (DI)

業況判断指数（全産業）は、前回調査（6月）に比べ、「良い」超幅が拡大した（前回3 → 今回13）。

業種別にみると、製造業は、電気機械で自動車関連向け需要の好調等を背景に業況判断を引き上げた先がみられたことなどから、「良い」超幅が拡大した（前回4 → 今回11）。非製造業でも、民間建設需要の増加等を背景に建設の業況判断が改善するなど、「良い」超幅が拡大した（前回3 → 今回14）。

先行きについては、製造業は横ばいを予想（今回11 → 先行き予測11）。一方、非製造業では、復興復旧関連需要の減少懸念等から「悪い」超に転じており（今回14 → 先行き予測▲7）、全産業でも「良い」超幅が縮小（今回13 → 先行き予測0）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」の「供給超過」超幅が縮小傾向にあり、「販売価格判断DI」は「上昇」超幅が拡大した。また、「生産・営業用設備判断DI」における「不足」超幅は引き続き拡大しており、「雇用人員判断DI」は、大幅な「不足」超の状態が続いている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	11	7	4	15	4	11(15)	11
素材業種	0	0	0	22	12	0(25)	12
加工業種	17	11	6	11	0	17(11)	11
非製造業	2	▲2	5	3	3	14(▲14)	▲7
建設	8	▲8	0	7	20	34(▲13)	0
全産業	6	2	4	8	3	13(▲3)	0

2. 売上高・経常利益（2018年度計画）

売上高は、製造業では、電気機械等で当初計画を下方修正する先がみられるものの、内外需要の好調を受けて、電気機械や鉄鋼等を中心に増収の計画。前回調査で復旧復興関連需要の減少等を背景に減収を見込んでいた非製造業でも、民間需要の増加等を受け建設や卸売等で上方修正され、ほぼ前年並みとなる見通しであり、全産業では増収幅が幾分拡大。

経常利益は、製造業については、電気機械でコスト削減策の奏効から上方修正の動きがみられたことなどから、前回調査比減益幅が縮小したが、全体では燃料費や人件費等のコスト上昇もあって若干の減益となる見通し。非製造業は、民間建設需要や個人消費の増加を受け、建設や小売で増益を予想するなど、全体では1割程度増益の計画。全産業では増益幅が拡大した。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2017年度(実績)		2018年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 0.6	1.5	4.9 (▲ 0.5)	▲ 3.2 (▲ 0.6)	13.4 (▲ 0.5)	▲ 1.7 (10.8)	▲ 60.7 (33.6)	2.2倍 (4.3)
非製造業	▲ 2.1	▲ 24.0	▲ 0.1 (0.9)	1.2 (0.9)	▲ 1.4 (0.9)	13.6 (1.5)	▲ 19.0 (▲ 1.1)	38.0 (2.7)
全産業	▲ 1.5	▲ 13.6	2.0 (0.3)	▲ 0.8 (0.2)	4.7 (0.3)	6.3 (5.4)	▲ 43.6 (10.7)	65.4 (3.5)

3. 設備投資額（2018年度計画）

設備投資額（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）については、製造業は、生産用機械や自動車関連で新製品対応投資等による上方修正の動きがみられるなど、前年を3割方上回る計画。一方、非製造業は、卸・小売や対個人サービスでの投資一服等から、前年を2割方下回る見通し。全産業では前回調査比増加し、前年を若干上回る計画となっている。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	設備投資*		ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)
製造業	1.7	29.3 (14.9)	5.7	28.5 (12.2)
非製造業	▲ 5.5	▲ 20.6 (▲ 0.7)	21.1	▲ 19.2 (▲ 0.6)
全産業	▲ 2.0	4.5 (8.5)	12.8	4.9 (7.0)

*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲21	▲18	▲17	▲17	▲15	▲13(▲13)	▲16
製商品在庫	「過大」—「不足」	10	4	6	4	5	4(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	24	30	33	29	28	29(40)	30
販売価格		▲3	▲2	3	2	0	6(3)	3

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	4	▲11	0	▲11	▲11	▲15(▲15)	▲7
非 製 造 業	0	▲3	▲3	▲5	▲8	▲8(▲8)	▲8
全 産 業	1	▲6	▲2	▲7	▲9	▲11(▲11)	▲8

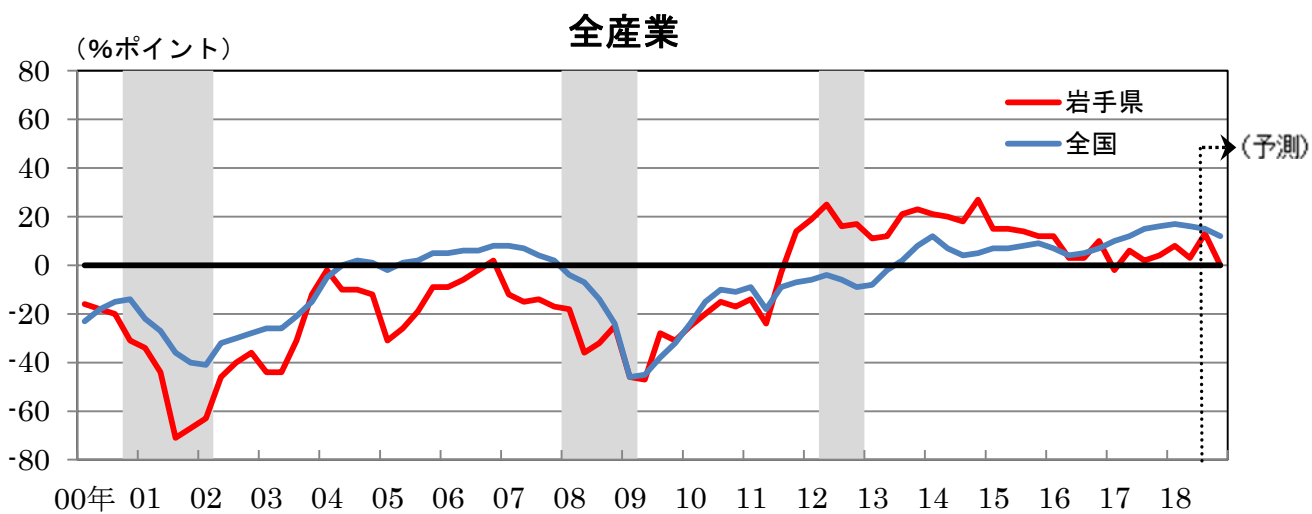
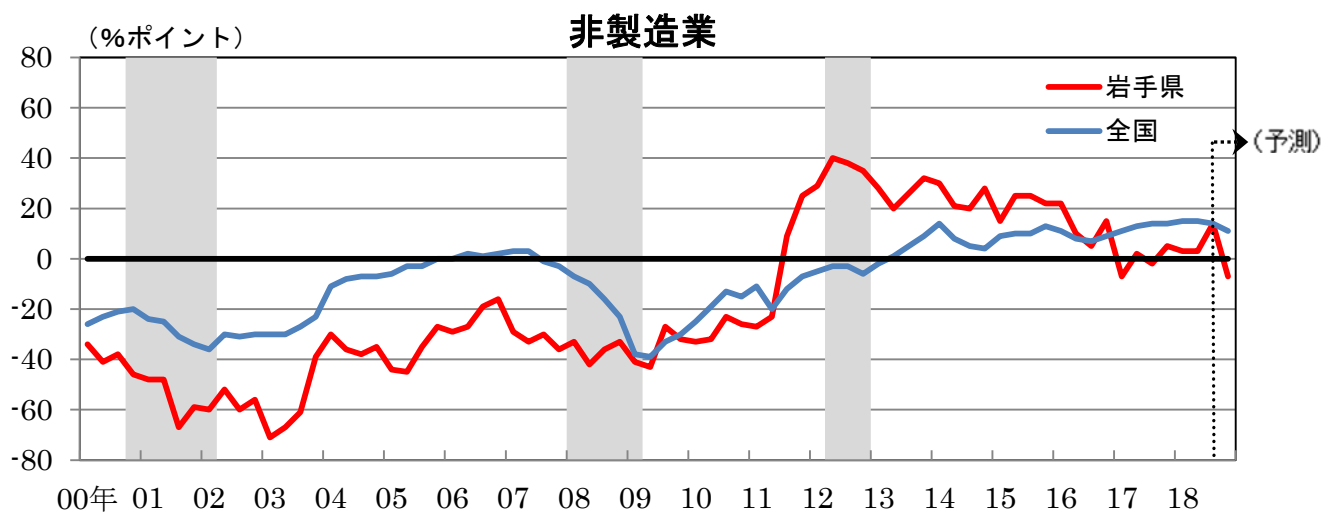
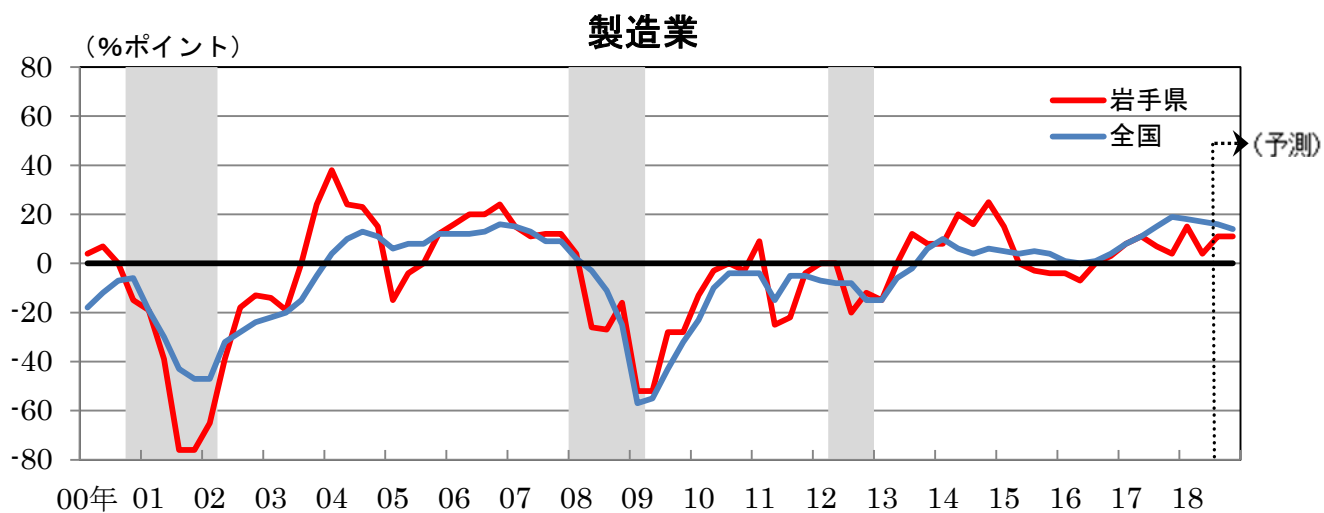
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	▲33	▲33	▲37	▲42	▲34	▲38(▲38)	▲34
非 製 造 業	▲25	▲30	▲35	▲50	▲52	▲50(▲50)	▲47
全 産 業	▲28	▲31	▲36	▲47	▲46	▲46(▲46)	▲43

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	9	3	7	6	4	3(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	14	9	9	13	13	11(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲6	▲7	▲6	5	2	3(5)	6

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	全国	11	15	19	18	17	16 (15)	14
	東北	6	7	10	13	14	9 (15)	12
	岩手	11	7	4	15	4	11 (15)	11
非製造業	全国	13	14	14	15	15	14 (11)	11
	東北	8	12	11	8	8	7 (0)	1
	岩手	2	▲ 2	5	3	3	14 (▲14)	▲ 7
全産業	全国	12	15	16	17	16	15 (13)	12
	東北	7	10	10	9	10	9 (5)	5
	岩手	6	2	4	8	3	13 (▲ 3)	0

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		17/6月	9月	12月	18/3月	6月	9月	12月 (予測)
全産業	岩手	6	2	4	8	3	13 (▲ 3)	0
	青森	7	8	8	6	9	7 (5)	3
	宮城	7	14	11	10	10	4 (8)	2
	秋田	4	14	13	9	8	9 (9)	9
	山形	8	15	13	14	19	14 (11)	12
	福島	7	8	8	10	9	5 (5)	5

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>